

第61回地盤工学シンポジウムプログラム

日時：平成30年（2018年）12月14日（金）

場所：JGS会館（〒112-0011 東京都文京区千石 4-38-2 公益社団法人地盤工学会 内）

テーマ：「地盤災害」

参加費：一般会員（国際会員・正会員・名誉会員）：6,000円、学生会員：4,000円、非会員：10,000円

※いずれも論文集代を含む

特別講演会：「近年の集中豪雨・地震による地盤災害とその教訓（対話と協働の推進を）」

講師：安福規之 教授（九州大学）

「IoT活用で自然の脅威を軽減する未来防災」

講師：加藤誉士 氏（日本電気）

お知らせ：地階会議室は、昼休み中、配置変更のため荷物置き・昼食等にご利用いただけません。

12月14日（金） 9:00—受付開始

・9:30-10:45 会場A（地下A会議室）

セッション1：平成30年北海道胆振東部地震

座長：中野正樹（名古屋大学）

1-1 造成宅地の新たな液状化流動破壊モードとそのメカニズム—平成30年北海道胆振東部地震での札幌市清田区の事例—

國生剛治（中央大学名誉教授）

1-2 胆振東部地震による火山灰盛土地盤の液状化

小合克弥（九州大学）

1-3 2018年北海道胆振東部地震による北広島市大曲並木地区の宅地被害分析

橋本隆雄（国土舘大学）

1-4 平成30年北海道胆振東部地震による地盤・土構造物の被害に関する一考察

野谷正明（エイト日本技術開発）

1-5 平成30年北海道胆振東部地震における斜面崩壊の特徴

細矢卓志（中央開発）

・9:30-10:45 会場B（地下B会議室）

セッション5：土石流・斜面崩壊（現地調査・現地観測）

座長：柴田俊文（岡山大学）

5-1 平成25年台風18号による福井県嶺南地域の土石流災害

平成25年台風18号による地盤災害調査団（竜田尚希（富山大学））

5-2 山間地域における住民参加型斜面監視・モニタリングシステムの構築

小山倫史（関西大学）

5-3 簡易現場試験による崩壊斜面の原位置強度の推定

大嶺聖（長崎大学）

5-4 地質的断裂に起因する斜面崩壊の γ 線測定による事例的考察

吉村辰朗（第一復建）

5-5 災害協力協定に基づく岐阜県内豪雨災害の合同調査

沢田和秀（岐阜大学）

・9:30-10:45 会場C（3階大会議室）

セッション7：構造物の変形・強度と評価（1）

座長：鈴木健介（鹿島建設）

7-1 谷積み及び布積みのブロック積擁壁躯体の曲げ破壊特性

澤松俊寿（土木研究所）

7-2 災害対策用の補強土防護擁壁の提案とその性能評価

横田善弘（前田工織）

7-3 蛇籠を用いた道路擁壁の安定計算に関する一考察

白倉和也（エイト日本技術開発）

7-4 河川の流向と橋台背面盛土の設置位置が盛土の侵食・流出に及ぼす影響について

御厩敷公平（北見工業大学）

7-5 円筒金網かご工による地盤災害の復旧

奥西一裕（昭和機械商事）

・11:00-12:15 会場A（地下A会議室）

セッション2：地震被害と土質・地質・地形条件

座長：保坂吉則（新潟大学）

2-1 熊本地震における滑動崩落被害を受けた造成宅地の土質特性及び再現解析

門田浩一（パンフィックコンサルタンツ）

2-2 2016年熊本地震で被災した補強土壁における変状要因の分析

佐藤登（土木研究所）

2-3 1964年新潟地震における新潟市内の建物と地盤の被害分布と地形条件の関係

保坂吉則（新潟大学）

2-4 地震時におけるグラウンドアンカーの損傷と抑止効果について

常川善弘（相愛）

2-5 Dynamic Characteristics of Volcanic Soil and Its relation to Landslide Mechanism in Gentle Slope

Sumartini Wa Ode（Kyushu University）

・11:00-12:15 会場B (地下B会議室)

セッション9: 改良土・特殊土の特性と影響

座長: 橋本則之 (不動産テトラ)

9-1 フィルダム堤体改修用固化改良土の粘着力と一軸圧縮強さの関係
福島伸二 (フジタ)

9-2 乱れた関東ロームの一軸圧縮強さとCBRおよび微視的構造に及ぼす影響
岡田貴行 (日本大学)

9-3 火山灰質粘性土の繰返し劣化に基づく住宅基礎の地震時変状の考察
安原一哉 (茨城大学)

9-4 飽和田子しらすの単調および繰返しせん断挙動と浸透型薬液による改良効果
清原雄康 (八戸工業高等専門学校)

9-5 ひも状繊維材料の毛管上昇特性を活かした地盤内水分環境改善と植生長成への効果
村上喬紀 (九州大学)

・11:00-12:15 会場C (3階大会議室)

セッション8: 構造物の変形・強度と評価 (2)

座長: 中澤博志 (防災科学技術研究所)

8-1 鋼杭により補強された混成防波堤構造に関する水平抵抗特性
毛利惇士 (東京理科大学)

8-2 CPTU を利用した河川堤防弱部と透水性空間分布の同定
西村伸一 (岡山大学)

8-3 埋戻し土を用いた模型実験による路面下空洞の進展過程の考察
伊藤亮太 (応用地質)

8-4 土構造物を対象とした大変形理論に基づくひずみ空間多重せん断モデルの適用性の検討
藤井紀之 (応用地質)

8-5 災害復旧工事での圧入施工による杭施工事例
北野裕太 (技研製作所)

・13:20-15:20 会場A・B (地下大会議室)

特別講演1: 近年の集中豪雨・地震による地盤災害とその教訓 -対話と協働の推進を-

講師: 安福規之 教授 (九州大学)

特別講演2: IoT活用で自然の脅威を軽減する未来防災

講師: 加藤誉士 氏 (日本電気)

司会: 中野正樹 (名古屋大学)

・15:40-17:10 会場A (地下A会議室)

セッション4: 平成30年7月豪雨

座長: 西村伸一 (岡山大学)

4-1 西日本豪雨災害における斜面災害の特徴と過去の災害との相違点
鈴木素之 (山口大学)

4-2 平成30年7月豪雨による山口県南東部の地盤被害の状況
河内義文 (ケイズラブ)

4-3 平成30年7月豪雨での広島県と岡山県のため池の被害
柴田俊文 (岡山大学)

4-4 平成30年7月豪雨による岡山県内のため池被害と破壊メカニズムについての一考察
坂部晃子 (エイト日本技術開発)

4-5 平成30年7月豪雨における近畿地方の土砂災害
鏡原聖史 (ダイヤコンサルタント)

4-6 西日本豪雨における堤防決壊に伴う浸水時の冠水井戸の簡易水質調査
藤田真理子 (茨城大学)

・15:40-17:10 会場B (地下B会議室)

セッション3: 振動特性・液状化

座長: 高橋直樹 (三井住友建設)

3-1 振動式コーンを用いた定点振動の適用性に関する室内土槽実験
石村陽介 (土木研究所)

3-2 土被り厚が実橋脚の振動特性に及ぼす影響に関する実験
村田和哉 (鉄道総合技術研究所)

3-3 観測地震動からS波の地盤増幅特性を抽出する方法
川瀬博 (京都大学防災研究所)

3-4 杭基礎擁壁の地震時残留変位算定法に関する検討
藤本達貴 (鉄道総合技術研究所)

3-5 杭を用いた壁背面土の液状化抑制効果に関する数値実験
藤原覚太 (東海大学)

3-6 液状化対策型貯水槽の浮き上がり防止効果に関する簡易模型実験
中澤博志 (防災科学技術研究所)

3-7 平成29年九州北部豪雨によるため池の被災分析と室内越流模型実験の試行
石蔵良平 (九州大学)

・15:40-17:10 会場C (3階大会議室)

セッション6: 土石流・斜面崩壊 (解析・評価)

座長: 笠間清伸 (東京工業大学)

6-1 GISを利用した斜面崩壊危険箇所の要因分析
南部啓太 (協和設計)

6-2 確率応答曲面法を用いた三次元斜面安定解析
笠間清伸 (東京工業大学)

6-3 平成29年7月九州北部豪雨で発生した斜面崩壊と各種降雨指標に関する分析
古川全太郎 (九州大学)

6-4 並列タンクモデルを用いた災害時降雨パターンを考慮した土砂災害警戒基準の作成に関する研究
高原利幸 (金沢大学)

6-5 Effects of Climate Change on Slope Failure in Snowy Cold Regions
Zhu Yulong (Hokkaido University)

6-6 寒冷地で発生した極表層をすべり面とする斜面崩壊の調査と安定解析
山口滉平 (北見工業大学)